

# 特別講演 II 「核医学イメージングでわかる情動のメカニズムー “ときめき” の脳科学ー」

高橋 佳代（たかはし かよ）先生のご紹介



独立研究開発法人 理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター  
生命機能動的イメージング部門 イメージング基盤・応用グループ  
健康・病態科学研究チーム 上級研究員

大阪大学人間科学部卒、スウェーデン・ウプサラ大学大学院医学系研究科単位取得退学、Ph. D. 2006年より理化学研究所研究員。ヒトの気質、感情を神経内分泌系のイメージング（主にPET）を用いて明らかにすることを目指している。

アイソトープを利用する核医学イメージングは、病気の診断や治療の評価に広く応用されています。核医学イメージングのひとつであるPETは、日常の診療だけでなく臨床研究の強力なツールとしても注目されています。これまでも脳血流と脳機能の関連についての研究は数多く報告されていますが、脳内の神経伝達物質を直接測定してヒトの情動のメカニズムを解明するというPETならではの新しい研究をご紹介します。本特別講演ではヒトの恋愛感情に着目し、ドーパミン神経系の変化から解析した「恋愛時の“ときめき”のメカニズム」についての研究成果をご紹介します。恋愛という身近なテーマを最先端の技術で解説していただけます。